



政治専攻「演習1」
第1期第2次募集



【目次】

1. 募集について
2. 募集に関する注意事項
3. 選考方法
4. ゼミ内容
 - ▶ 小原 薫 先生
 - ▶ 荻田 真司 先生
 - ▶ 坂本 一登 先生
 - ▶ 宮下 大志 先生

1. 募集について

【募集スケジュール】

第1期第1次募集	
応募は終了しました。	

第1期第2次募集	
応募期間	2024年10月30日（水）正午～11月6日（水）12時50分
選考期間	2024年11月7日（木）～11月12日（火）
可否発表	2024年11月13日（水）20時予定 K-SMAPY IIにて

※第1期第2次募集において、全1年生が登録できていない場合に限り、未確定者を対象に第1期第3次募集を行います。

【応募方法】 K-SMAPY IIより

※ログイン後、上部バナー「アンケート」より応募してください。

※K-SMAPY IIからの応募がなく面接を受けるまたは課題提出だけをしているケースがありましたので必ずK-SMAPY IIからの応募も行ってください。応募がない場合は無効になります。

2. 募集に関する注意事項

- (ア) 上記の募集期間に必ず応募してください。応募期間外の応募は認められません。
- (イ) K-SMAPY IIからの応募がなく、面接を受ける、または課題の提出だけをしているケースがありましたので、必ずK-SMAPY IIから応募も行ってください。
- (ウ) 担当教員によって選考方法（面接・レポート・テストなど）は異なります。「選考方法」で必ず内容を確認の上、応募するようにして下さい。
- (エ) 毎年ありますが、提出期限を超えたりレポートの提出は認められませんし、面接時間への遅刻・面接の欠席に関する取り次ぎはいたしません。
- (オ) 政治専攻では、同一年度に複数ゼミを受講することが出来ます。2つ目のゼミを希望する場合には11月に行われる第2期募集で応募できます。
- (カ) ゼミに合格後、他のゼミへの変更はできません。
- (キ) 各教員の連絡先は個人情報のため、お教えできません。
- (ク) ゼミ応募に関する問い合わせ先は以下のとおりです。

【問い合わせ先】

教務課	①9時～12時50分 ②13時50分～20時30分
法学資料室（若木タワー7階）	①9時～17時

※月曜日～金曜日で受け付けます。

※日曜日・祝日は学年暦に準じ、授業実施日に限り開室いたします。

3. 選考方法

希望する教員の選考方法を確認してください。

例年、レポートの提出期限や面接日時を間違えているケースがありますので、ご注意ください。

教員名	選考方法	提出方法・レポート締切日時	レポート内容	備考
		面接日時	面接教室	
小原 薫	レポート	面接時持参	小原ゼミへの志望理由と、最近関心のある政治、社会の問題	(書式) 自由 (字数) 600~800字
	面接	11月12日(火) 12時00分~12時50分	若木タワー8階0801研究室	
菊田 真司	レポート	面接時持参	自己紹介とゼミの志望理由	(書式) A4 (字数) 1,000字程度
	面接	11月7日(木) 12時10分~	若木タワー7階0712研究室	
坂本 一登	レポート	メール送付 kazutos@kokugakuin.ac.jp 11月6日(水) 17時00分まで	志望理由と最近関心を持っている政治的出来事	(書式) 自由 (字数) 1,000字程度
	面接	11月7日(木) 16時15分~	若木タワー7階0705研究室	
宮下 大志	レポート	メール送付 miyashita@kokugakuin.ac.jp 11月6日(水) 15時00分	現在の日本の政治をどう評価するか	(書式) 自由 ただし Word ファイルか Pages ファイルでメール添付提出 (字数) 1,200字
	面接	11月7日(木) 14時40分~	若木タワー8階0810研究室	

4. ゼミ内容

教員名	小原 薫
演習テーマ	現代日本の政治、思想を考える
演習内容	<p>足りない年金、選択制夫婦別姓、米中貿易戦争、ウクライナ紛争、パレスチナ問題等、日本を取り巻く問題は山積している。そうした中で、傍観者として臨むのではなく、何が問題なのか、より深く考えて考察する必要がある。</p> <p>小原ゼミでは、前期は、新書を中心に、現在の日本を取り巻く問題について、討論を行う。後期は、各自が設定するテーマに従って、調査・研究を行い、随時、中間報告を行いながら、一つのレポートとしてまとめることを目指す。</p> <p>無断欠席は認めない。積極的にゼミ活動に参加し、討論する積極的な学生の参加を望みます</p>
教科書	ゼミ開始時に指定します。新書を2, 3冊予定
参考文献	
備考	

教員名	菊田 真司
演習テーマ	ジョン・ロールズと現代政治哲学の基礎
演習内容	<p>政治にかかわるさまざまな価値や考え方について、原理的に検討していくのが、政治哲学と呼ばれる分野です。50年ほど前にジョン・ロールズという政治哲学者によって、この分野に大きな転換がもたらされました。</p> <p>所得の再分配の問題を始め、多文化共存の問題、国際的な不平等是正の問題、世代間正義の問題、など、現代の諸課題に関する政治哲学的な議論のほとんどは、ロールズ思想から始まっています。（なお、ロールズのいう「正義」とは、「公正」のことで、「悪」に対する「正しいこと」という意味ではないので、注意してください。）</p> <p>今年度の演習では、ロールズ思想を検討することで、現代の政治哲学の基本的な考え方を理解することを目標とします。最近出たロールズ思想の入門書を使い、その要点を整理し、さらにロールズ思想の広がりについても考えて行く予定です。</p> <p>演習は、指定されたテキストを読み、担当者が報告した後で、全員で討論する形で行われます。また、演習参加者には、自分の好きなテーマについて論文を執筆してもらい、論文報告会で報告してもらいます。</p> <p>選考にあたっては、議論に積極的に参加する意欲のある人を優先します。</p>
教科書	<p>『今を生きる思想 ジョン・ロールズ 誰もが「生きづらくない社会」へ』、講談社現代新書、2024年</p> <p>『ジョン・ロールズ 社会正義の探求者』、中公新書、2021年</p> <p>神島裕子、『正義とは何か 現代政治哲学の6つの視点』、2018年</p>
参考文献	<p>マイケル・サンデル、『これから正義の話をしよう』、ハヤカワ・ノンフィクション文庫、2011年</p> <p>ジョン・ロールズ、『公正としての正義 再説』、岩波現代文庫、2020年</p>
備考	<ul style="list-style-type: none"> ・面接日に都合が悪い等の連絡や、演習内容についての質問は、karita@kokugakuin.ac.jp までメールで送ってください。 ・「政治哲学入門」を履修済み・履修中・履修予定のいずれかであることが望ましいです(応募条件ではありません)。

教員名	坂本 一登
演習テーマ	戦前の政党と議会政治
演習内容	<p>2024年は、選挙の年であった。1月の台湾総統選挙をはじめとして、韓国、インド、英国、フランス、イランと続き、11月には米国大統領選挙がある。選挙は、各国の政治を大きく変貌させ、新たな政治の動きが始まっている。日本においても、自民党および立憲民主党の新リーダーを選ぶ選挙が続き、新たな政党政治および議会政治が模索されている。こうした状況に鑑み、来年度は、戦前日本の政党政治および議会政治の歴史をふり返り、日本政治の将来を考察することを狙いとする。現代においても、2009年政権交代が実現し、民主党政権が誕生した時、日本における二大政党制の可能性が、しきりに論じられた。それから、15年、二大政党制確立の可能性は遠のいたようにみえる。それでは、戦前の日本では、約8年間とはいえ、なぜ政党内閣の時代が誕生し、なぜそれが崩壊したのか、その経緯を考察することは、今後の日本の政治を考える示唆を与えてくれるかもしれない。まず昭和戦前期の政党や議会史を概観するところからはじめ、21世紀の政治を念頭におきながら、政党政治の可能性や議会政治とは何かを考えていきたい。</p> <p>なお、演習は、前期は文献講読、後期は論文作成をおこなう。前期講読における報告と後期の小論文の完成は、単位取得のためには必須である。演習なので、全回出席が原則であり、無断欠席の場合は、除名することがあるので、留意すること。</p>
教科書	勝田龍夫：重臣たちの昭和史上下巻 文春文庫
参考文献	栗屋憲太郎：昭和の政党 岩波現代文庫 筒井清忠：昭和戦前期の政党政治 ちくま新書 小山俊樹：五・一五事件 中公新書 古川隆久：戦時議会 吉川弘文館
備考	面接時間が不都合な場合は、メール（kazutos@kokugakuin.ac.jp）にて相談すること。対応可能です。

<p>教員名</p>	<p>宮下 大志</p>
<p>演習テーマ</p>	<p>「日本の政治、日本の民主主義、そして日本の未来、どうしたらいい？」</p>
<p>演習内容</p>	<p>日本の政治、日本の民主主義、そしてこれからの日本のあり方について論じてみたいと思います。</p> <p>あなたは、現在の日本の政治、そして（ちょっと抽象的になってしまいますが）日本の民主主義についてどう思っているのでしょうか？</p> <p>また社会の状況としても、格差問題、女性の権利の問題などをどうするべきか、問いかけられている状況ではないかと思いますが、どう考えますか？</p> <p>どちらについても、人によって評価はさまざまでしょう。それが現状だと思います。</p> <p>そこで来年度のゼミでは、この日本の政治・民主主義さらには日本の社会について、多様な意見を持った人に集まってもらい、どう評価すべきか、今後はどうなるのが望ましいかななどを論じてゆきたいと思います。</p> <p>そしてそのために、過去の日本の政治を検討したり、現在の問題点を考えたり、今後のあるべき姿を議論したり、ということをおみなさんとやってゆく予定です。</p> <p>そしてその際には、多少は欧米との比較や理論的考察も盛り込めたら、とも考えています。</p> <p>なお、応募者は、「<u>現在の日本の政治をどう評価するか</u>」というテーマで、自分なりの評価を記したレポートを期日までにメール添付で提出してください。もちろん、あなたの政治的指向性で判断するわけではなく、「どれだけ考えているか」を見たいのです。その際、必ずメール本文に応募者の氏名を明記してください。</p>
<p>教科書</p>	<p>開講時に指定します</p>
<p>参考文献</p>	<p>必要に応じて紹介します</p>
<p>備考</p>	<p>面接は、対面での面接としたいと思います。個別面接ですので、全体としては11月7日（木）14時40分開始ですが、その時間に集合していただいた上で、個人個人の面接時刻を指定します。面接の日時にどうしても都合がつかない、あるいは面接開始時間を配慮してほしい（「15:15には大学を出なければならぬのでその前に設定してほしい」など）場合にはメールで早めに知らせてください。メールでのやりとりで相談させていただきます。</p> <p>なお、面接は一人15分ほどを予定しています。ですので、応募者が例年になく多くならない限り、当日の対面での面接は遅くとも16時には最後の面接を終えられるかと思っています。</p>